

ミュージカル ミス・サイゴン STORY

1975年4月、サイゴン

ベトナム戦争末期。爆撃で故郷の村と両親を失った少女キムは、ナイトクラブを営むエンジニアに拾われる。エンジニアやクラブの女たちは、アメリカへ渡り豊かに暮らす夢を見ながら、G.I相手に媚を売って生きていた。戸惑いながらも店に出るキム。初めての客は、長引く戦争の中で虚無感にさいなまれる米兵クリスだった。一夜を共にした二人は互いの中に救いを見出し、恋に落ちる。幸せな二人の前に突然、キムの婚約者トゥイが現れた。ベトナムのトゥイはキムが敵兵と一緒にいることに激怒し、アメリカの敗北は近いと言い捨てて去っていく。クリスはキムを国へ連れ帰ると決め、二人は世界が終わろうと愛は続くと誓い合う。だが、サイゴン陥落の時はすぐそこに迫っていた。

1978年4月、ホーチミン（旧サイゴン）

戦争が終わり社会主義国家となったベトナム。ホーチミンでは、建国3周年を祝う式典が行われていた。収容所で再教育を受けていたエンジニアは、人民委員長となったトゥイの前に引き出され、キムを探すように命じられる。キムは、クリスとの再会を信じながら難民キャンプに身を潜めていた。だが、帰還したアメリカで今もベトナムの悪夢に苦しむクリスの傍らには、献身的に彼を支える妻エレンの姿があった。エンジニアの手引きでキムと再会したトゥイは、結婚を迫る。キムは頑なにそれを拒み、クリスとの息子タムの存在を明らかにする。逆上したトゥイに我が子を殺されそうになり、キムは彼を打ち殺してしまう。彼女の頼る先はエンジニアしかなかった。混血のタムは、アメリカ行きの夢を捨てられないエンジニアにとっては入国許可書も同然に映る。エンジニアと共に、キム母子は難民の群れに紛れ国境を越えていく。

1978年9月、アトランタ

クリスのベトナム時代の戦友ジョンは、米兵とベトナム女性との間の混血児“ブイドイ”の救援活動に従事していた。ジョンからキムがバンコクで自分との子どもを育てていると知らされたクリスは、エレンと共にキムに会おうと決心する。

1978年10月、バンコク

安キャバレーの客引きをしていたエンジニアは、キムを探すジョンと出くわす。クリスが来たと知り心躍らせるキムに、ジョンは彼が結婚している事実を伝えることが出来ない。喜びに溢れるキムだが、現れたトゥイの亡霊によって、3年前の“あの日”へと引き戻されていく。

1975年4月、サイゴン

撤退するアメリカ軍に助けを求め、民衆が大使館に押し寄せていた。キムを迎えにいこうとするクリス。クリスを探し大使館にやって来るキム。殺気立った人々に阻まれ、二人は互いを見つけ出すことが出来ない。

轟音と共に、最後の脱出用ヘリが到着した。ジョンは、キムの名を呼ぶクリスを引きずるように搭乗させる。ヘリは彼方へと飛び去り、後には置き去りにされ茫然となるベトナムの人々が残された。

1978年10月、バンコク

はやる気持ちを押しさえられず、キムはホテルへ向かう。そこに居たのはエレンだった。妻の存在に驚き打ちのめされ、キムは部屋を飛び出していく。戻ってきたクリスは、動揺するエレンにベトナムでの辛い記憶を打ち明け、必要なのは君だと説く。母子への援助が最善策と考えるクリス夫妻。顔をくもらせるジョン。遂にアメリカに渡ると成功を夢想するエンジニア。それぞれの想いを胸にキムのもとへ向かった彼らを待つのは、キムの悲壮な決意の現れだった……。